

「偽装」が相次ぐニッポン ちょっとおかしいぞ。

政治への不信、生活への不満、未来への不安。

しがらみや利権とは一切無縁の田中康夫と共に、みんなの疑問を「新党日本」が解決します。

**立場の弱い人ほど、税金をむしり取られる
冷たい国になってない？**

【脱・増税路線】

サラリーマンの年収は8年連続で下落。所得税と住民税の定率減税は半減し、老年者控除と配偶者控除も全廃されました。一方、この間に法人への課税は1.4兆円も減税され、更に2兆円を超える企業減税を政府与党は打ち出しています。

参院選後に消費税率の引き上げを、と既成事実化する政府与党の「構造改革」とは実は、「弱い者いじめ」だったのです。無定見な増税は、人こそ財産の日本の活力を減退させます。



**優しさが感じられる社会。みんなが願っているのに、
どうして逆現象ばかりなの？**

【脱・物質主義】

既に日本に暮らす5人に1人が高齢者。他方で、1人の女性が生涯に出産する人数は1.26人。歴史上に例を見ない速度で、超少子・超高齢社会が進行しています。

量の拡大から質の充実へ。物質主義から脱・物質主義へ。視点と発想を根本から変えて政治を行わねば、日本に未来は訪れません。

福祉・医療・教育・環境・観光。人が人のお世話を初めて成り立つ分野への予算と人財の傾注投資こそ、新しい雇用を創出します。



**先生までが「いじめ」の加害者だなんて、
学校は一体、どうなっちゃってるの？**

【脱・偏差値主義】

人口300人に1ヶ所の割合で設けられた江戸時代の寺子屋は、一教室30人規模で6歳～14歳の子供たちに、「読み書きそろばん」と生活知識、行儀作法を学び習わせ、教師役の「師匠」は地域の有識者が務めました。

青年海外協力隊出身の若者と民間人校長の積極的採用を長野県で行ったのも、豊かな経験と生きた言葉を持つ「師匠」だからです。教育を、頭でっかちな文部官僚と教員組合から保護者と児童・生徒の手に取り戻しましょう。

